# みだれかご（4）

加　藤　正　世

## 娘一人に婿六人

捕蟲網を片手に近所の森を漫歩して居ると，目もあやなる派手姿の雌大なコガネグモが見つかつた。標本に恰好と捕らうとすると，何とその周圍に見すぼらしい姿をした雄が6匹おしるしばかりの網を張つて取りまいて居るのだ。

見ると，どれもこれも滿足に8本の肢を持つた奴は居ない。若しも蜘蛛の肢が4本だつたらどんなだらう。蜘蛛にして見れば澤山の肢をつけて下さつた神様に感謝しなければなるまい。

餘談はさて置き，これは面白いと出した手を引込めて見物することにした。

1匹の雄がブルブルと腹を震はせたかと思ふと，興奮した様に雌に近づいたまるで小學生が横綱に立向ふ様なコントラストである。雌の腹に雄の肢が觸れたかと思ふと，雌の長い肢は哀れな雄の頭をポカツと打ちのめして居るのだ。斯うなると誠に意氣地のないもので，スゴスゴと自分の網に戻つて行くのである。すると又代り合ひまして新手が武者震ひしてはやつて來る。そしてポカンである。何と云ふ意氣地の無い奴等であらうか……と憤慨して見ても相手は見上げる様な大娘である。蜘蛛の世界の女尊男卑は極端である。そんなにまでして雄を虐待する位なら單性生殖でもやればいゝのにそれも出來ないらしい。何と云ふ矛盾した世界であらうか。

彼等の行動を目撃した我々男性たるもの義憤を感ぜずには居られんとばかり先づ大娘をつかまへて毒壜へほり込むと共に意氣地無しの野郎共にもお供を仰せつけた。

顧みれば人間社會にもどうやら蜘蛛に似た様なのがあるようである。

### 雌に捲き締められた雄

鴻の台へ採集に行つた折，見事なコガネグモが見つかつたので捕らうとすると，その網に雄が來て居るのに氣がついた。しばらく見て居る内に何回もの打撃を受け乍らもよくねばつて遂に腹部に達して觸鬚を挿し込んだ。その刹那雌は今迄食つて居た昆蟲と共に雄をグルグル捲きにしてしまつた。白い絲を全身にかけられた哀れな雄は逃れやうともがいて見たがその甲斐なく，あはや毒牙に掛らうとした瞬間私の手は兩者を壺壜に投げ込んでしまつたのだ。今猶雄蜘蛛の哀れな姿は標本箱に雌の殘酷を物語つて居る。

### 蜘　蛛　釣　り

ハシリグモ *Dolomedes raptor* Boes. et Str. は川岸等に居て中々捕りにくいやりそこなふと水底へ潜り込む始末の悪い奴であるが，そこで一策を案じたのが"蜘蛛釣り"の方法で，これは絲の先に生きた昆蟲をしばりつけて，ハシリグモの居さうな水面を流してやると，それを見つけてしがみつくから，靜かに引上げて網で受けるのである。

### チウガタコガネグモの採集記録

岸田氏*に依ればチウガタコガネグモ *Coganargiope aetherea* Walckenaer の本州に於ける分布は埼玉縣が北限とのことである。筆者は前後2回しか發見して居ないが，一つは同樣埼玉縣ではあるが一跨ぎで東京府と云ふ山口觀音附近のきはどい處で發見し，他はずつと離れた千葉縣市川市　鴻ノ台附近の林間である。何れはお膝元からも發見されるに違ひない。

〔御願ひ〕 アカオニグモとコケオニグモの生品を御送り下さい。 2頭宛御送り下さればば1頭は乾式標本にして御返し致します。

---

*本誌　Vol. I. no. 1, p. 25 (1936)